

診療案内

スタッフ：種市 洋(センター長、整形外科教授)
磯 幸博(第2外科准教授)
瓜田 淳(整形外科講師)
菅 和範(元日本プロサッカー選手会副会長)

診療時間：月～土曜日 9:00～16:00(受付時間 8:30～13:00)
※プロアスリートは24時間体制で対応いたします。

診療方法：◎紹介状を持参いただくことをお勧めします。持参いただかない場合は、初診時選定療養費をご負担いただきます。
◎曜日によっては後日専門外来を受診していただく場合がありますので、事前に確認していただくのが望ましいです。

対象疾患：スポーツに関わるすべての外傷や障害

代表疾患：膝前十字靭帯損傷、半月板損傷、外傷性軟骨損傷、足関節捻挫(靭帯損傷)、反復性肩関節脱臼、投球障害肩、野球肘(離断性骨軟骨炎、内側側副靭帯損傷)、上腕骨外側上顆炎(テニス肘)、手関節捻挫(三角線維軟骨複合体損傷)、頭頸部顔面外傷(脳震盪、鼻骨骨折、頬骨骨折、眼窩底骨折、頸椎捻挫、眼球挫創など)、外傷性胸腹部損傷



獨協医科大学 スポーツ医学センター

Center for Sports Medicine, Dokkyo Medical University

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880

TEL: 0282-86-1111

[Home page] <https://oooooooooooooooooooooo>

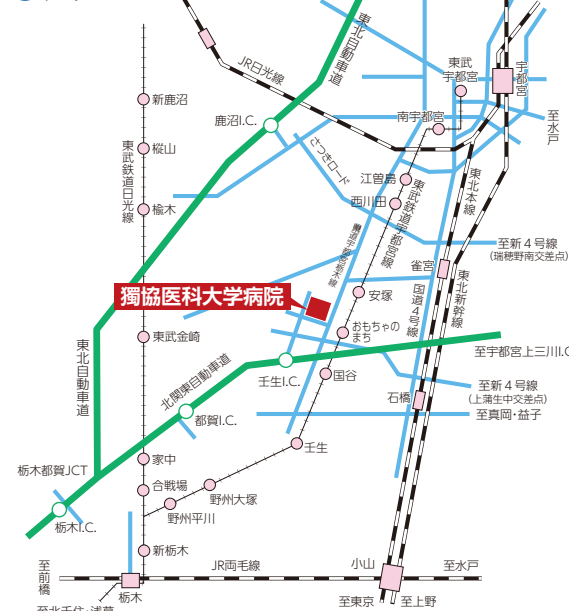
電車を利用する場合

- ◎東武宇都宮線「おもちゃのまち駅」西口よりバスにて3分、徒歩15分
- ◎JR宇都宮線「宇都宮駅」西口市内バスにて東武宇都宮駅まで10分「東武宇都宮駅」より「おもちゃのまち駅」下車
- ◎JR宇都宮線「石橋駅」西口からタクシーにて15分

高速道路を利用する場合

- ◎東北自動車道から栃木都賀JCT經由北関東自動車道「壬生IC」から3分
- ◎東北自動車道「栃木IC」から30分
- ◎東北自動車道「鹿沼IC」から30分

●アクセス



Center for Sports Medicine, Dokkyo Medical University

獨協医科大学スポーツ医学センター

全てのアスリートに最先端医療を・・・

獨協医科大学スポーツ医学センターについて



センター長
種市 洋

獨協医科大学では、栃木県内のトップアスリートから学生、スポーツ愛好家まで幅広くスポーツを愛する方々を医学的・科学的にサポートを行い、スポーツによる怪我・障害に対して、スポーツ医学領域の最先端の医療を提供することで支援していきたいとの思いから2021年10月1日に獨協医科大学スポーツ医学センターを開設しました。

スポーツ医学センターには、日本スポーツ協会公認スポーツドクターはじめ、外科および内科の各専門医、リハビリスタッフ、スポーツファーマシストといった多くの人材が所属しております。そのため、各分野の専門医及びスタッフがスポーツ復帰のために「迅速かつ最先端の医療」を提供できるようチームを組み連携しながら多角的にサポートすることで、アスリートの障害に対する治療を支えることができると考えております。

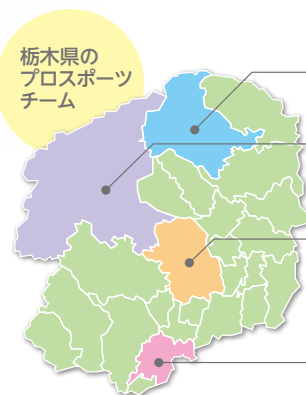


Elite athlete support

プロアスリート診療体制

プロスポーツチームの活躍は地域の活性化に繋がります。栃木県は国内でも多くのプロスポーツチームが活動している地域です。スポーツ医学センターではトップアスリートであるプロスポーツ選手のスポーツ活動により生じる傷害(外傷・障害)からのスムーズな競技復帰およびトップパフォーマンスを維持して選手生活を少しでも長く送れるよう、最先端の診断・治療技術に基づいた大学病院ならではの診療体制を整えました。

チームから要請があった際はチームドクターおよびトレーナーと連携を取りながら迅速に対応することでサポートします。



- 栃木県のプロスポーツチーム
- 那須塩原市
 - ◎那須ブラーゼン(自転車)
 - 日光市
 - ◎H.C. 栃木日光アイスバックス(アイスホッケー)
 - 宇都宮市
 - ◎宇都宮ブレックス(バスケットボール)
 - ◎栃木SC(サッカー)
 - ◎宇都宮プリツェン(自転車)
 - 小山市
 - ◎栃木ゴールデンブレーブス(野球)



診療体制

◎プロアスリートをサポートするために
病院全科で分野横断的に診療

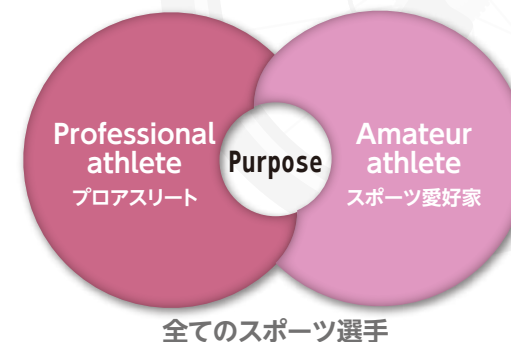
◎検査(MRIなど)を含む診療を
24時間行える体制※を整えて
迅速な診断を実践

※プロアスリートに限定させていただきます。



目的

プロアスリートからスポーツ愛好家まで
全てのスポーツ選手の
スポーツ障害(外傷・障害)をサポート



理念

スポーツ医学に関して、
教育・研究・臨床を通して
普及および発展に貢献する。



Sports for Life

スポーツで人生を豊かに

- ◎学 生：部活動・クラブ活動への復帰を目指して
- ◎中高齢者：Quality of Lifeの向上を目指して

スポーツ基本法の前文に、「スポーツは、心身の健康の保持増進にも重要な役割を果たすものであり、健康で活力に満ちた長寿社会の実現に不可欠」と記されています。スポーツ医学センターでは、健康増進および健康寿命の延伸のためにスポーツを通じて活力のある生活を送れるようサポートしたいと考えております。

スポーツ医学センターでは、全ての年齢層のスポーツ選手およびスポーツ愛好家が怪我や障害によりスポーツ活動の継続が困難となった際に、それらの怪我や障害に対して最先端の診断・治療技術から、スポーツ復帰へのリハビリテーションの治療体制を整えて、障害に対する治療からスポーツ復帰までサポートします。



Education of Sports Medicine

スポーツ障害に対する講演会・医療者向け研修コースの開催

スポーツ医学について、一般市民に向けた情報発信や講演活動を行い怪我や障害予防について啓蒙するとともに、医療従事者に対してスポーツ障害・医療に対する研修を行い、スポーツ医療に関わる人材を育成することで社会に貢献します。